

工事完成図書の電子納品要領【建築編・建築設備編】

項目(番号は改定前)		旧		新		備考
		頁	内容	頁	内容	
3 フォルダ構成	枠内文書	2	工事管理ファイル及び工事管理ファイルを規定するDTDファイルを置く。	2	工事管理ファイル及び工事管理ファイルを規定するDTD及びXSLファイルを置く。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。	
		2	各フォルダの下に、「ORG」オリジナルファイルフォルダを置く。格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。	2	各フォルダの下に、「ORG」オリジナルファイルフォルダを置く。また、i-Constructionに係る電子データファイルを格納するため、電子媒体のルート直下に「ICON」のフォルダを置く。格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。	
		2	「DRAWINGF」フォルダには、工事完成図の図面ファイル、レイヤリストファイル及び図面管理ファイルを格納する。DTDファイルもこのフォルダに格納する	2	「DRAWINGF」フォルダには、工事完成図の図面ファイル、レイヤリストファイル及び図面管理ファイルを格納する。DTD及びXSLファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。	
		2	「MAINT」フォルダには、保全に関する資料ファイル及び保全に関する資料管理ファイルを格納する。DTDファイルもこのフォルダに格納する。	2	「MAINT」フォルダには、保全に関する資料ファイル及び保全に関する資料管理ファイルを格納する。DTD及びXSLファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。	
		2	「PLAN」フォルダには、施工計画書ファイル及び施工計画書管理ファイルを格納する。DTDファイルもこのフォルダに格納する。	2	「PLAN」フォルダには、施工計画書ファイル及び施工計画書管理ファイルを格納する。DTD及びXSLファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。	
		2	「SCHEDULE」フォルダには、工程表ファイル及び工程表管理ファイルを格納する。DTDファイルもこのフォルダに格納する。	2	「SCHEDULE」フォルダには、工程表ファイル及び工程表管理ファイルを格納する。DTD及びXSLファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。	
		2	「MEET」フォルダには、打合せ簿ファイル及び打合せ簿管理ファイルを格納する。DTDファイルもこのフォルダに格納する。	2	「MEET」フォルダには、打合せ簿ファイル及び打合せ簿管理ファイルを格納する。DTD及びXSLファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。	
		2	「MATERIAL」フォルダには、機材関係資料ファイル及び機材関係資料管理ファイルを格納する。DTDファイルもこのフォルダに格納する。	2	「MATERIAL」フォルダには、機材関係資料ファイル及び機材関係資料管理ファイルを格納する。DTD及びXSLファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。	

工事完成図書の電子納品要領【建築編・建築設備編】

項目(番号は改定前)		旧		新		備考		
		頁	内容	頁	内容			
		2	「PROCESS」フォルダには、施工関係資料ファイル及び施工関係資料管理ファイルを格納する。DTDファイルもこのフォルダに格納する。	2	「PROCESS」フォルダには、施工関係資料ファイル及び施工関係資料管理ファイルを格納する。 DTD及びXSLファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。			
		2	「INSPECT」フォルダには、検査関係資料ファイル及び検査関係資料管理ファイルを格納する。DTDファイルもこのフォルダに格納する。	3	「INSPECT」フォルダには、検査関係資料ファイル及び検査関係資料管理ファイルを格納する。 DTD及びXSLファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。			
		2	「SALVAGE」フォルダには、発生材関係資料ファイル及び発生材関係資料管理ファイルを格納する。DTDファイルもこのフォルダに格納する。	3	「SALVAGE」フォルダには、発生材関係資料ファイル及び発生材関係資料管理ファイルを格納する。 DTD及びXSLファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。			
		2	「OTHR」フォルダには、その他資料ファイル及びその他資料管理ファイルを格納する。DTDファイルもこのフォルダに格納する。	3	「OTHR」フォルダには、その他資料ファイル及びその他資料管理ファイルを格納する。 DTD及びXSLファイルもこのフォルダに格納する。ただし、XSLファイルの格納は任意とする。			
				3		3	「ICON」フォルダには、i-Constructionに係る電子データファイルに関連する要領等に従い格納する。	
		3	各フォルダに直接対象ファイルを格納し、階層分けは行わない。	3	各フォルダに直接対象ファイルを格納し、階層分けは行わない（「ICON」フォルダを除く。）			
【解説】 (1) 電子媒体のルート直下	3	(1) 電子媒体のルート直下 1) 業務管理ファイル	3	(1) 電子媒体のルート直下に置く 業務管理ファイル				
	3	本XML文書で用いるDTDを付属資料1に示す。	3	本XML文書で用いるDTDを付属資料1に示す。 なお、DTD及びXSLもこのフォルダに格納するものとする。				
(2) 「DRAWINGF」フォルダ		3) 図面管理ファイル 「DRAWINGF」フォルダに格納する……。本XML文書で用いるDTDを付属資料1に示す。なお、DTDもこのフォルダに格納するものとする。	4	3) 図面管理ファイル 「DRAWINGF」フォルダに格納する……。本XML文書で用いるDTDを付属資料1に示す。なお、 DTD及びXSL もこのフォルダに格納するものとする。				

工事完成図書の電子納品要領【建築編・建築設備編】

項目(番号は改定前)		旧		新		備考
		頁	内容	頁	内容	
(3) 「DRAWINGF」フォルダの「ORG」オリジナルファイルフォルダ			1) 図面オリジナルファイル 「DRAWINGF」フォルダの・・・、「図面ファイル」を作成したソフト固有の形式で保存したものである。 2) レイヤリストオリジナルファイル 「DRAWINGF」フォルダの・・・、「レイヤリストファイル」を作成したソフト固有の形式で保存したものとす。	4	1) 図面オリジナルファイル 「DRAWINGF」フォルダの・・・、「図面ファイル」を作成したソフトウェア固有の形式で保存したものである。 2) レイヤリストオリジナルファイル 「DRAWINGF」フォルダの・・・、「レイヤリストファイル」を作成したソフトウェア固有の形式で保存したものとす。	
(4) 「MAINT」・・・ 「OTHERS」フォルダ			2) 工事関係資料管理ファイル 各フォルダに格納する・・・。本XML文書で用いるDTDを付属資料1に示す。なお、DTDもこのフォルダに格納するものとする。	4	2) 工事関係資料管理ファイル 各フォルダに格納する・・・。本XML文書で用いるDTDを付属資料1に示す。なお、DTD及びXSLもこのフォルダに格納するものとする。	
(6) 「ICON」フォルダ				5	(6) 「ICON」フォルダ 1) 「ICON」フォルダに格納する電子データファイル 発注者は i-Construction に関連する要領等について、設計図書に規定する。「ICON」フォルダに格納する電子データファイルは、設計図書に規定される i-Construction に関連する要領等に従うものとする。 2) 資料管理ファイル 「ICON」フォルダには資料管理ファイルは格納しない。DTD も格納しない。	
(6) 要領に記載されていないフォルダの取扱い			(6) 要領に記載されていないフォルダの取扱い 本要領に記載されていないフォルダは、作成しない	5	(7) 要領に記載されていないフォルダの取扱い 本要領に記載されていないフォルダは、作成しない。 デジタルカメラで撮影した工事写真を提出する場合は、本要領で規定する電子納品とは別の電子媒体に格納し、独立して電子媒体を整理する。	

工事完成図書の電子納品要領【建築編・建築設備編】

項目(番号は改定前)		旧		新		備考
		頁	内容	頁	内容	
	※XSL eXtensible Style Language			5	※XSL eXtensible Style Language XML 文書の書式(体裁)を指定するスタイルシートを提供する仕様であり、「標準仕様書 TSX0088:2006 拡張可能なスタイルシート(XSL)1.1」、「JIS X 4169:2007 XSL 交換(XSLT)1.0」の規格がある	
	図3-1フォルダ構成	6~10	IDXD_B02.DTD DRAW_B02.DTD MNT_B02.DTD PLAN_B02.DTD SCHD_B02.DTD MEET_B02.DTD MTRL_B02.DTD PRDC_B02.DTD INSP_B02.DTD SLVG_B02.DTD OTHR_B02.DTD	6~10	IDXD_B04.DTD DRAW_B04.DTD MNT_B04.DTD PLAN_B04.DTD SCHD_B04.DTD MEET_B04.DTD MTRL_B04.DTD PRDC_B04.DTD INSP_B04.DTD SLVG_B04.DTD OTHR_B04.DTD i-Constructionフォルダ	
4 電子成果品の管理項目	表 4-1 工事管理項目(2/3)	5	ソフトメーカー用TAG	12	ソフトウェアメーカー用TAG	
	表 4-1 工事管理項目(3/3)	6	○(建築物基準点緯度 必須度) ○(建築物基準点経度 必須度)	13	△(建築物基準点緯度 必須度) △(建築物基準点経度 必須度)	
	【解説】 「基礎事項」	6		13	・i-Construction データフォルダ「ICON」は当面の間、業務管理項目の基礎情報には記入しない。DTD の要素としても定義しない。	
	【解説】 (2)「メディア種別」	6	電子媒体がCD-Rの場合は「CD-R」と記入する。DVD-Rの場合は「DVD-R」と記入する。	13	電子媒体がCD-Rの場合は「CD-R」と記入する。DVD-Rの場合は「DVD-R」と記入する。BD-Rとした場合は「BD-R」と記入する。	

工事完成図書の電子納品要領【建築編・建築設備編】

項目(番号は改定前)		旧		新		備考
	頁	内容	頁	内容		
【解説】 (3)「メディアフォーマット」	7	電子媒体がCD-Rで、論理フォーマットをISO9660（レベル1）とした場合は、「ISO9660LEVEL1」と記入する。電子媒体がDVD-Rで、論理フォーマットをUDF（UDF Bridge）とした場合は、「UDF」と記入する	14	電子媒体がCD-Rで、論理フォーマット Joliet とした場合は、「 JOLIET 」と記入する。電子媒体がDVD-Rで、論理フォーマットをUDF（UDF Bridge）とした場合は、「UDF」と記入する。 電子媒体がBD-Rで、論理フォーマットをUDF2.6とした場合は、「UDF2.6」と記入する。		
【解説】 (5)「契約金額」	14		14	・数字を記入する場合は、「,」（半角カンマ）は記入しない。		
脚注				※CORINS COstruction Records INformation Service（コリンズ） CORINSは、「工事実績と技術者のデータベース」であり、公共工事の一般競争入札方式等の入札・契約手続きを支援する。		
表 4-2 図面管理項目		ソフトメーカー用TAG	15	ソフトウェアメーカー用TAG		
		図面オリジナルファイル 名文字数欄 12	15	図面オリジナルファイル 名文字数欄 32		
表の下段 【記入者】		▲：電子成果品作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項	15	▲：電子成果品作成 ソフトウェア 等が固定値を自動的に記入する項目		
表の下段 【必要度】		☆：オリジナルファイルを格納する場合は必ず記入する	15	☆： 条件付き必須項目 （オリジナルファイルを格納する場合は必ず記入する）		
表 4 3 工事関係資料管理項目	10	資料オリジナルファイル名 名文字数欄 12	17	資料オリジナルファイル名 名文字数欄 32		
表の下段 【記入者】	10	▲：電子成果品作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項	17	▲：電子成果品作成 ソフトウェア 等が固定値を自動的に記入する項目		
表の下段 【必要度】	10	☆：オリジナルファイルを格納する場合は必ず記入する	17	☆： 条件付き必須項目 （オリジナルファイルを格納する場合は必ず記入する）		

工事完成図書の電子納品要領【建築編・建築設備編】

項目(番号は改定前)		旧		新		備考
		頁	内容	頁	内容	
5 ファイル形式		12	オリジナルファイルを作成するソフト及びファイル形式については、請負人が決定することができる	19	オリジナルファイルを作成するソフトウェア及びファイル形式については、請負人が決定することができる。	
	※SXF	12	SXFは、STEP AP202（製品モデルとの関連を持つ図面）規格を実装したCADデータ交換標準である。これは「CADデータ交換標準開発コンソーシアム（SCADEC）（平成11年3月～平成12年8月）」、「建設情報標準化委員会 CADデータ交換標準小委員会（平成12年10月～平成19年6月）」、「建設情報標準化委員会 図面／モデル情報交換小委員会（平成19年7月～）」（いずれも事務局は（財）日本建設情報総合センター）にて策定されたもので、ISO TC184/SC4（STEP規格を審議する国際会議）にて、STEP規格を実装したものであることが認知されている。 SXFの物理ファイルには国際標準に則った「P21形式」と国内CADデータ交換のための簡易形式である「SFC形式」の2種類がある。本要領では、建築物のライフサイクルを考慮し、納品されたデータが長期的に閲覧・編集できるよう永続性を確保すること、また、国外企業の参入を妨げないことが必須であるため、CADデータファイルのフォーマットにSXF（P21）形式を採用した。	19	異なるCADソフト間での交換ができる共通ルール（中間ファイルフォーマット：交換標準）である。「CADデータ交換標準開発コンソーシアム」において開発された。この交換標準はコンソーシアムの英語名称であるSCADEC(Standard for the CAD data Exchange Format in the Japanese Construction field)にちなみ、SXF標準と呼ばれている。SXFのファイル形式は、国際規格であるSTEP/AP202に準拠し、電子納品で採用されている、拡張子「.P21」のSTEPファイル（P21ファイルと呼ぶ。）と、国内でしか利用できないファイル形式である、拡張子「.SFC」のSFCファイル（Scadec Feature Comment file の略、SFCファイルと呼ぶ。）がある。 P21ファイルは、国際規格であるISO10303/202に則ったファイル形式であり、自由なデータ交換が可能となるように、描画要素に特化したフィーチャから構成されるデータ構造をもっている。本要領では、建築物のライフサイクルを考慮し、納品されたデータが長期的に閲覧・編集できるよう永続性を確保すること、また、国外企業の参入を妨げないことが必須であるため、CADデータファイルのフォーマットにSXF（P21）形式を採用した。	
6 ファイルの作成	6-2 タイトル	13	6-2 資料ファイルの作成	14	6-2業務関係資料ファイルの作成	
	6-3 資料ファイルの編集	13	6-3 資料ファイルの編集	14	6-3 業務関係資料ファイルの編集	
7 ファイルの命名規則		14	ファイル名の文字数は、半角（1バイト文字）で8文字以内、拡張子3文字以内とする。ファイル名・拡張子に使用する文字は、半角（1バイト文字）で、大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」とする。（拡張子と「.」を含めて12文字以内）	21	ファイル名の文字数は、半角（1バイト文字）で8文字以内とする。（拡張子と「.」を除く。）。	

工事完成図書の電子納品要領【建築編・建築設備編】

項目(番号は改定前)		旧		新		備考
	頁	内容	頁	内容		
	14		21	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリジナルファイルの拡張子はオリジナルファイル作成ソフトウェアが付与する拡張子とする（拡張子の文字数は23文字以内とする。）。 ・ ファイル名・拡張子に使用する文字は、半角（1バイト文字）で、大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」とする。 		
	14	DTDは「IDX_B02.DTD」（02は版番号）とする。 DTDは「DRAW_B02.DTD」（02は版番号）とする。 DTDは「MNT_B02.DTD」（02は版番号）とする。 DTDは「PLAN_B02.DTD」（02は版番号）とする。 DTDは「SCHD_B02.DTD」（02は版番号）とする。 DTDは「MEET_B02.DTD」（02は版番号）とする。 DTDは「MTRL_B02.DTD」（02は版番号）とする。 DTDは「PROC_B02.DTD」（02は版番号）とする。 DTDは「INSP_B02.DTD」（02は版番号）とする。 DTDは「SLVG_B02.DTD」（02は版番号）とする。 DTDは「OTHR_B02.DTD」（02は版番号）とする。	21	DTDは「IDX_B04.DTD」（04は版番号）とする。 DTDは「DRAW_B04.DTD」（04は版番号）とする。 DTDは「MNT_B04.DTD」（04は版番号）とする。 DTDは「PLAN_B04.DTD」（04は版番号）とする。 DTDは「SCHD_B04.DTD」（04は版番号）とする。 DTDは「MEET_B04.DTD」（04は版番号）とする。 DTDは「MTRL_B04.DTD」（04は版番号）とする。 DTDは「PROC_B04.DTD」（04は版番号）とする。 DTDは「INSP_B04.DTD」（04は版番号）とする。 DTDは「SLVG_B04.DTD」（04は版番号）とする。 DTDは「OTHR_B04.DTD」（04は版番号）とする。		
	14		21	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各管理ファイルのXSLは、「INDEX_C.XSL」、「DRAWINGFXSL」、「MAINT.XSL」、「PLAN.XSL」、「SCHEDULE.XSL」、「MEET.XSL」、「MATERIAL.XSL」、「PROCESS.XSL」、「INSPECT.XSL」、「SALVAGE.XSL」、「OTHRX.XSL」とする。 		
		レイヤリストファイルは「LAYERL_S.PDF」とし、レイヤリストオリジナルファイルは「LAYERL_O.」+「オリジナルファイル作成ソフト固有の拡張子」とする。	21	<ul style="list-style-type: none"> ・ レイヤリストファイルは「LAYERL_S.PDF」とし、レイヤリストオリジナルファイルは「LAYERL_O.」+「オリジナルファイル作成に用いたソフトウェアが付与する拡張子」とする。 		

工事完成図書の電子納品要領【建築編・建築設備編】

項目(番号は改定前)		旧		新		備考
		頁	内容	頁	内容	
8 電子成果品	【解説】	15	真正性の確保とは、正当な人が作成した電子成果品の情報（文書、図面等）に対して第三者の確認により作成の責任と所在が明確であるとともに、故意または過失による虚偽記入、書き換え、消去等が防止されていることである。	23	真正性の確保とは、正当な人が作成した電子成果品の情報（文書、図面等）に対し、 故意又は過失による虚偽記入、書き換え、消去及び混同が防止されているとともに、第三者から見て作成の責任の所在が明確であることである。	
		15	CD-Rの論理フォーマットは、ISO9660（レベル1）を原則とする。	23	CD-Rの論理フォーマットは、 Joliet 又はUDF（UDF Bridge）とし、Jolietを原則とする。	
		15	・複数枚のCD-Rになる場合は、「8-3電子媒体が複数枚に渡る場合の処置」に従う。	23	複数枚の 電子媒体 になる場合は、「8-3電子媒体が複数枚に渡る場合の処置」に従う。	
		15	基本的にはCD-Rの使用とするが、特定のシステムに依存しないフォーマット形式や再生ドライブの普及度を考慮して、DVD-Rも協議により可とする。	23	原則としてCD-Rの使用とするが、データが大容量になる場合には、特定のシステムに依存しないフォーマット形式や再生ドライブの普及度を考慮して、DVD-R 又はBD-R も協議により可とする。	
				23	・BD-Rにデータを記録する（パソコンを使って記録する）際のファイルシステムの論理フォーマットは、 UDF2.6とする。	
図 8-1 電子媒体への表記(例)		16	フォーマット形式：ISO9660（レベル1）	24	フォーマット形式： Joliet	
8-3 電子媒体が複数枚に渡る場合の処置		17	・工事管理ファイルの基礎情報の「メディア番号」は、電子媒体の表面に明記してある何枚目／総枚数と整合を取る	25	・電子媒体の表面の「枚数／総枚数」の記載は、電子媒体に格納した 工事管理ファイルの基礎情報に整合させる。	
	【解説】	17		25	<p>・設計図書の記述により同じ内容の電子成果品を複数部（複数セット）提出する場合でも、「総枚数」は全体枚数の合計ではなく、1部に係る枚数をいう。例えば、正副1部ずつ合計2部を提出することになっている場合において、1枚の電子媒体にデータを格納した場合、電子媒体の表面にはいずれも「1／1」と明記する。</p> <p>・ラベル面（図 8-1）の「枚数／総枚数」の記載について、「枚数」は当該メディアに格納された「業務管理ファイル」の「基礎情報」の「メディア番号」、「総枚数」は同「メディア総枚数」を記載する。電子媒体1枚に収まる場合は「1／1」、N枚に渡る場合は「○／N」となる。</p>	

工事完成図書の電子納品要領【建築編・建築設備編】

項目(番号は改定前)		旧		新		備考
		頁	内容	頁	内容	
付属資料1 管理ファイル のDTD	1 業務管理ファイル のDTD	付1-1	工事管理ファイル (INDEX_D.XML) のDTD (IDX_D02.DTD) を以下に示す。 <!-- IDX_D02.DTD / 2012/03 --> <!ELEMENT constdata (基礎情報,ソフトウェア情報?,工事情報,発注者情報,受注者情報,施設情報+,予備*)> <!ATTLISTconstdata DTD_version CDATA #FIXED "02">	付1-1	工事管理ファイル (INDEX_D.XML) のDTD (IDX_D04.DTD) を以下に示す。 <!-- IDXC_B04.DTD / 2018/01 --> <!ELEMENT constdata (基礎情報,ソフトウェア情報?,工事情報,発注者情報,受注者情報,施設情報+,予備*)> <!ATTLIST constdata DTD_version CDATA #FIXED "04">	
	図付 1-1 工事管理 ファイルのDTDの構 造	付1-3	IDXD_B02.DTDの構造図 ソフトメーカー用 T A G	付1-3	IDXD_B04.DTDの構造図 ソフトウェアメーカー用 T A G	
	2 図面管理ファイル のDTD	付1-4	図面管理ファイル (DRAWING.XML) のDTD (DRAW_B02.DTD) を以下に示す。 <!-- DRAW_B02.DTD /2012/03 --> <!ELEMENT drawingdata(ソフトウェア情報?,/図面情報+)> <!ATTLIST drawingdata DTD_version CDATA #FIXED"02">	付1-4	図面管理ファイル (DRAWING.XML) のDTD (DRAW_B04.DTD) を以下に示す。 <!-- DRAW_B04.DTD /2018/01 --> <!ELEMENT drawingdata(ソフトウェア情報?,/図面情報+)> <!ATTLIST drawingdata DTD_version CDATA #FIXED"04">	
	DRAW_B04.DTDの 構造図	付1-5	DRAW_B02.DTDの構造図 ソフトメーカー用 T A G	付1-5	DRAW_B04.DTDの構造図 ソフトウェアメーカー用 T A G	
	3 工事関係資料管理 ファイルのDTD	付1-6	保全に関する資料管理ファイル (MAINT.XML) のDTD (MNT_B02.DTD) における例を示しているが、その他の工事関係資料管理ファイルについては、下表にしたがって置き換える。	付1-6	保全に関する資料管理ファイル (MAINT.XML) のDTD (MNT_B04.DTD) における例を示しているが、その他の工事関係資料管理ファイルについては、下表にしたがって置き換える。	

工事完成図書の電子納品要領【建築編・建築設備編】

項目(番号は改定前)		旧		新		備考
		頁	内容	頁	内容	
	DTDファイル名	付1-6	MNT_B02.DTD PLAN_B02.DTD SCHD_B02.DTD MEET_B02.DTD MTRL_B02.DTD PROC_B02.DTD INSP_B02.DTD SLVG_B02.DTD OTHR_B02.DTD	付1-6	MNT_B04.DTD PLAN_B04.DTD SCHD_B04.DTD MEET_B04.DTD MTRL_B04.DTD PROC_B04.DTD INSP_B04.DTD SLVG_B04.DTD OTHR_B04.DTD	
		付1-6	<!-- MNT_B04.DTD / 2012/03月 --> <!ELEMENT maintdata (ソフトウェア情報?,資料情報+)> <!ATTLIST maintdata DTD_version CDATA #FIXED "02">	付1-6	<!-- MNT_B04.DTD / 2018/01 --> <!ELEMENT maintdata (ソフトウェア情報?,資料情報+)> <!ATTLIST maintdata DTD_version CDATA #FIXED "04">	
		付1-7	MNT_B02.DTDの構造図 ソフトメーカー用 T A G	付1-7	MNT_B04.DTDの構造図 ソフトウェアメーカー用 T A G	
付属資料 2	1 工事管理ファイル 管理ファイル のXML記入例	付2-1	工事管理ファイル (INDEX_C.XML) の記入例を以下に示す。 <?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?> <!DOCTYPE constdata SYSTEM "IDXC_B02.DTD"> <constdata DTD_version="02"> <	付2-1	工事管理ファイル (INDEX_C.XML) の記入例を以下に示す。 <?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?> <!DOCTYPE constdata SYSTEM "IDXC_B04.DTD"> <?xml-stylesheet type="text/xsl" href="IDXC_B04.XSL"?> <constdata DTD_version="04">	
	2 図面管理ファイル のXML記入例	付2-3	図面管理ファイル (DRAWINGF.XML) の記入例を以下に示す。 <?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?> <!DOCTYPE drawingdata SYSTEM "DRAW_B02.DTD"> <drawingdata DTD_version="02">	付2-3	図面管理ファイル (DRAWINGF.XML) の記入例を以下に示す。 <?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?> <!DOCTYPE drawingdata SYSTEM "DRAW_B04.DTD"> <?xml-stylesheet type="text/xsl" href="DRAW_B04.XSL"?> <drawingdata DTD_version="04">	

工事完成図書の電子納品要領【建築編・建築設備編】

項目(番号は改定前)		旧		新		備考
		頁	内容	頁	内容	
	3 資料管理ファイルのXML記入例	付2-4	<p>工事関係資料管理ファイルの記入例を、保全に関する資料管理ファイル（MAINT.XML）を例にして以下に示す。</p> <pre><?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?> <!DOCTYPE maintdata SYSTEM "MNT_B02.DTD"> <maintdata DTD_version="02"> <</pre>	付2-4	<p>工事関係資料管理ファイルの記入例を、保全に関する資料管理ファイル（MAINT.XML）を例にして以下に示す。</p> <pre><?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?> <!DOCTYPE maintdata SYSTEM "MNT_B04.DTD"> <?xml-stylesheet type="text/xsl" href="MNT_B04.XSL"?> <maintdata DTD_version="04"></pre>	